

2021年5月6日

投資家の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「デジタルヘルス株式ファンド」の基準価額の下落について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

足許の市場動向と「デジタルヘルス株式ファンド」(以下、「ファンド」ということがあります。)の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ 基準価額

ファンド名	2021年 4月30日 基準価額(円)	2021年 5月6日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
デジタルヘルス株式ファンド	10,401	9,698	▲703	▲6.76

(騰落率は小数点第3位四捨五入)

◆ 市況情報

	2021年4月28日	2021年5月4日	騰落率 (%)
MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス	360.13	356.08	▲1.12

(小数点第3位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、4月28日と5月4日を比較しています。
指数値は、米ドル建てトータルリターンです。

	2021年4月28日	2021年5月4日	騰落率 (%)
米ドル(対円レート)	108.91	109.20	0.27

(小数点第3位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、4月28日と5月4日を比較しています。
為替レートは、WMロイター社が発表するロンドン時間午後4時のレート(単位:円)です。

出所:MSCI、ブルームバーグ

◆足許の状況

米国や欧州では、新型コロナウイルスのワクチン接種が普及し始め、経済活動の制限緩和や正常化が進み、今後の景気拡大が期待されるため、株式市場は概ね堅調に推移しています。米国では、今年の独立記念日(7月4日)頃までに成人の約7割がワクチン接種を受けることを目標にしていると報道されています。これらのことを背景に、4月下旬以降は景気敏感株が買われています。

一方、米連邦準備制度理事会(FRB)で量的金融緩和の縮小や利上げの時期についての議論が早まる可能性が出てきており、相対的に高値警戒感が見られるハイテク株が売られ、ハイテク株の比率が相対的に高いナスダック総合株価指数は4月下旬から足許まで下げが目立ちました。

ファンドでは、ヘルスケアセクターの中でもバイオテクノロジーやヘルスケア機器といったハイテク株と分類される銘柄を中心に組入れており、4月29日から5月4日に前述の市況の下で組入れ銘柄の一部が下落し、基準価額は前営業日比で5%を超えて下落しました。上位組入れ銘柄では、決算発表後の利益確定売りなどを背景に、テラドック・ヘルス、デクスコム、イグザクト・サイエンシズなどで下落が目立ちました。

◆今後の見通し

新型コロナウイルスのワクチン接種が普及し、世界景気の回復が株価を押し上げるとの見方が優勢となっています。一方、FRBによる今後の金融政策の行方を巡っては市場が神経質となり、株価が大きく変動する可能性もあります。

ファンドが投資するヘルスケアの課題を解決する革新的テクノロジーを持つ「ピュア・プレイヤー企業^{*}」は、長期的にみて業績の拡大に伴う株価の上昇を見込んでいます。

(^{*}デジタルヘルス分野による収益が企業収益の50%以上を占めている企業)

以上

* MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックスは MSCI が開発した株価指数で、新興国を含む世界の主要国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利は MSCI に帰属します。

当資料はT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 **4.40%(税込)**

信託財産留保額・・・上限 **解約金額・償還金額の 0.50% または1口(設定時1口1万円)あたり 250 円**

◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 **年 2.035%(税込)**

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

*上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

*詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。